

このたびは、5回線用リレーボックスをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグを
コンセント
から抜く

分解 / 改造はしない




火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない / 濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。	
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因となります。	
雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない 感電の原因となります。	

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。	
不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	
工事は工事店に依頼する 工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。	
異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。	
長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。	  プラグをコンセントから抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。	 プラグをコンセントから抜く
電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。	
電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	
濡れた手で、電源コードを抜き差ししない 感電の原因となります。	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。	
電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。	
移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	 プラグをコンセントから抜く
この機器に乗ったり腰掛けたりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。	
1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

設置・使用上のご注意	<p>湿気の多い所や温度の高い場所での使用を避け、通風の良い場所に設置してください。</p> <p>AC電源コードや接続コード類は正しく接続し、容易にはずされないよう設置場所にしっかり固定してください。又コード類はコンロやストーブのそばや足にひっかけたり踏んだりする所を通さないようにしてください。さらに誘導雑音などを避けるため、AC電源から離してください。</p> <p>本機を雑音発生の原因になる機器の近くには設置しないでください。</p> <p>高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。</p>
-------------------	--

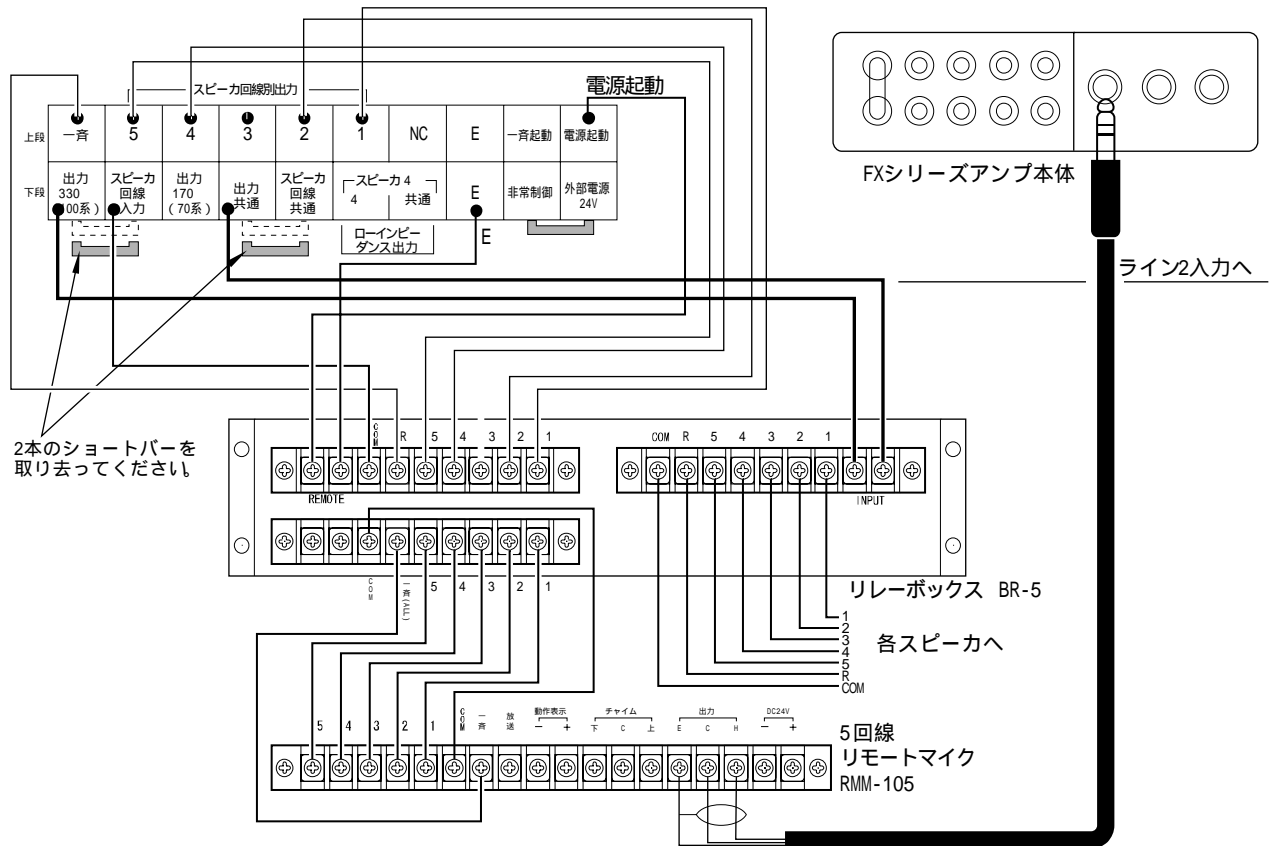
FXシリーズアンプ及び5回線リモートマイクRMM-105との接続のしかた

図のように配線してください。

RMM-105の電源スイッチを入れますと、FXシリーズアンプの電源スイッチに関係なく動作します。

RMM-105より放送系統はBR-5の動作表示灯により確認できます。

各スピーカ線の配線はBR-5よりおこなってください。FXシリーズアンプよりの直接配線はできません。



非常制御のショートバーは接続しておいてください。
 (ただし、非常制御する場合は非常制御端子についての項目に従って配線してください。)

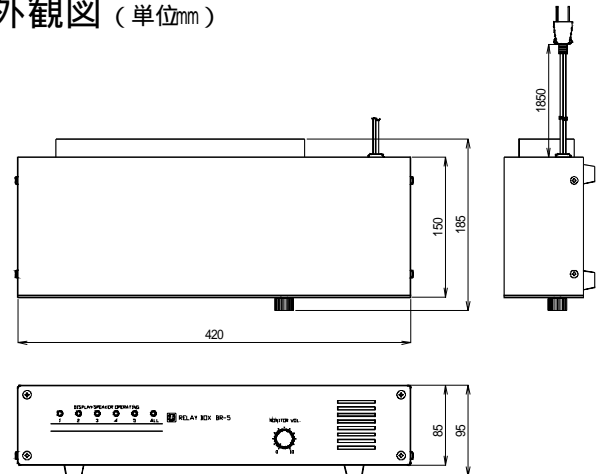
接続のしかた

- 1 アンプ及びリレーボックスBR-5の端子カバーをはずしてください。
- 2 リレーボックスのPOWER REMOTE端子2ヶ所とアンプのPOWER REMOTE端子2ヶ所をそれぞれ0.75mm²以上のリード線で接続してください。
- 3 リレーボックスBR-5のSPEAKER端子部のIN端子とアンプの出力端子部COM-70Vライン-100VラインのCOM端子を、又同じくPUT端子とアンプの出力端子の100Vライン又は70Vライン端子とを、それぞれ0.75mm²のリード線で接続してください。
- 4 リレーボックスBR-5のAMP端子部のCOM端子とアンプのSPEAKER端子部のIN端子とを接続し、他の12345及びR端子もリレーボックスとアンプの同一名称間を0.3mm²以上のリード線でそれぞれ接続してください。
- 5 リレーボックスBR-5のREMOTE MIC端子部の1,2,3,4,5,ALL及びCOM各端子とリモートマイクRMM-105の接続端子部の同一名称の端子間をリード線でそれぞれ接続してください。
- 6 リモートマイクRMM-105の出力線をアンプのライン2入力ジャックへ接続してください。
- 7 リレーボックスBR-5のSPEAKER端子部の1,2,3,4,5,R及びCOMにそれぞれスピーカ回線負荷を接続してください。
- 8 アンプ端子部に接続されているショートバー2個を取り去ってください。(上図参照)
- 9 アンプ及びリレーボックスの端子カバーを元通り取付けてください。
- 10 リレーボックスBR-5のAC電源コードのプラグを、アンプのAC OUTLET又は電源コンセントに接続してください。
- 11 リモートマイクRMM-105のAC電源コードのプラグを、電源コンセントに接続してください。
- 12 リレーボックスBR-5に放送個所の表示が必要なときは、付属の表示カードを作動表示灯の上に貼付けてください。

定格

使用電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	7W (電気用品安全法による測定方法に基づく)
制御回路	電源制御 入/切
接点容量	入力容量 1回線 : AC125V 5A以下
スピーカー制御回路	3線式 5回線一斉付 リモートマイク優先方式
リモート回路	DC24V 1回線あたり70mA以下 5回線合計 350mA以下
動作表示	発光ダイオード
モニタースピーカー	70mm PDS 音量調節器付
外装	パネル (鋼板) マンセルN1.5 近似色 ブラック ケース (ピニルラミネート鋼板) マンセルN4 近似色 グレー
寸法	幅 420mm 高さ 95mm 奥行き 185mm
質量	約 3.7kg

外観図 (単位mm)



連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

品名 品番 お買い上げ日 故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811 札幌市中央区南1条西 10-2-17	TEL. (011)511-5505(代)	FAX. (011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025 釧路市宝町 3-8	TEL. (0154)25-3156(代)	FAX. (0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015 仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL. (022)232-1295(代)	FAX. (022)232-1297
東京営業所	〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-17	TEL. (03)3821-3721(代)	FAX. (03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922 新潟市山二ツ 4-6-19	TEL. (025)287-3611(代)	FAX. (025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362 金沢市古府 1-190	TEL. (076)240-4577(代)	FAX. (076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037 静岡市下島 152-5	TEL. (054)238-1446(代)	FAX. (054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051 名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL. (052)871-1671(代)	FAX. (052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL. (06)6632-2855(代)	FAX. (06)6644-1624
岡山エリア連絡先		TEL. (086)244-2317(代)	FAX. (086)244-4461
高松営業所	〒760-0079 高松市松縄町 525-1-203	TEL. (087)868-1181(代)	FAX. (087)868-1331
広島営業所	〒730-0016 広島市中区熾町 5-29	TEL. (082)222-5511(代)	FAX. (082)222-5513
福岡営業所	〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL. (092)721-5000(代)	FAX. (092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島市上之園町 8-12	TEL. (099)250-0220(代)	FAX. (099)257-3327

ユニペックス株式会社

本社 / 営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6
お客様相談窓口 (CS課) TEL. (072)855-3334